

本教材の使い方

養成校の学生が、映像やテキストをもとに、実際の保育を具体的にイメージしながら学んだり、実習前の授業などで活用したりする。

各園の園内研修で、新人・中堅の保育者が映像を観て、さまざまな視点で子どもの姿や保育者の姿を通して語り合ったり、学び合ったりする。

子育て支援の場で、親になったばかりの保護者が、3ヶ月児の映像を観て、子どもへの丁寧な関わりを学ぶ。

解説テキスト

—映像を学びと研修に活かすための保育の視点を掲載

①子どもの状況

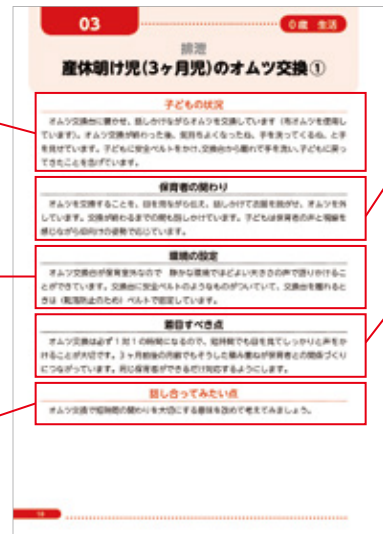
どのような場面であるのか子どもや保育者の姿を見て、それぞれの思いや保育者はどのような考えがあるのか、読み取ります。

③環境の設定

環境の設定はどうなっているか、どのような工夫がなされているかをみます。

⑤話し合ってみよう

読者の方が実際に実践する場合を想定した問いを立てています。身近な事例を出して話し合い考えてみましょう。



②保育者の関わり

その場面で保育者はどう関わっているか、声かけや関わり方をみます。

④着目すべき点

その場面で特に大切にしたい点、保育の重要な視点を上げています。



サンプル映像をQRからご覧いただけます

映像コンテンツ (DVD)

—乳児を対象とする保育のあらゆる場面を収録

0歳(3ヶ月)

- 01【食事】産休明け児(3ヶ月児)の授乳①
- 02【食事】産休明け児(3ヶ月児)の授乳②
- 03【排泄】産休明け児(3ヶ月児)のオムツ交換①
- 04【排泄】産休明け児(3ヶ月児)のオムツ交換②
- 05【睡眠】産休明け児(3ヶ月児)の目覚めとまどろみ
- 06【睡眠】産休明け児(3ヶ月児)のぐすり泣き
- 07【着脱】産休明け児(3ヶ月児)の寝起きと着替え
- 08【言葉】産休明け児(3ヶ月児)への語りかけ①
- 09【言葉】産休明け児(3ヶ月児)への語りかけ②
- 10【室内遊び】産休明けの子どもへの受け入れ
- 11【室内遊び】産休明け児(3ヶ月児)の遊び

0歳(4ヶ月~)

- 12【食事】4ヶ月児の授乳
- 13【食事】オムツ交換後に食事をする
- 14【食事】食事直前の準備
- 15【食事】抱っこで食事をする
- 16【食事】手づかみで食事をする
- 17【食事】1対1での食事の援助
- 18【睡眠】午睡(昼寝)の寝かしつけ
- 19【睡眠】わらべうたを歌って眠りに誘う
- 20【着脱】昼寝後の着替えとオムツ交換
- 21【室内遊び】玩具を握らせてもらって遊ぶ
- 22【室内遊び】吊り玩具に手を伸ばして遊ぶ
- 23【室内遊び】子どもの身体に触れる遊び①
- 24【室内遊び】子どもの身体に触れる遊び②
- 25【室内遊び】わらべうた遊び・くすぐり遊び
- 26【室内遊び】布を使った遊び

- 27【室内遊び】わらべうた遊び(うまはとしとし)①
- 28【室内遊び】わらべうた遊び(うまはとしとし)②
- 29【室内遊び】壁掛けの木製玩具で遊ぶ
- 30【室内遊び】窓から外の様子を眺める

1歳

- 31【食事】食べ始めから食べ終わりまで
- 32【食事】スプーンを使って食べる
- 33【食事】食事から昼寝までの流れ
- 34【食事】ひとりで食事を運んで食べる
- 35【食事】ひとりで食事を盛り付けて食べる
- 36【着脱】昼寝後に着替えをする
- 37【着脱】ひとりで靴をはく
- 38【着脱】外遊びに出かける前の準備
- 39【室内遊び】箱を押して遊ぶ
- 40【室内遊び】玩具を移し替える遊び
- 41【室内遊び】足に輪っかをはめて遊ぶ
- 42【室内遊び】わらべうたでお茶を飲んで遊ぶ
- 43【室内遊び】人形に食事をさせるごっこ遊び
- 44【室内遊び(活動)】パンを取り分けて食べる
- 45【室内遊び(活動)】種を取って調理室に運ぶ
- 46【室内遊び(活動)】タオルで窓を拭く
- 47【外遊び】箱型ベビーカーでのお散歩
- 48【外遊び】水をすくう遊びを繰り返す
- 49【外遊び】猫じゃらしを探す
- 50【健康】発熱した子どもへの対応

2歳

- 51【食事】ひとりで手を洗い食事をする

- 52【食事】子ども同士で食事をする
- 53【食事】子どもと保育者が食事をする①
- 54【食事】子どもと保育者が食事をする②
- 55【排泄】着脱・排泄・手洗いの流れ
- 56【排泄】遊びの途中で排泄を促す
- 57【睡眠】ひとりで布団に入り目覚める
- 58【着脱】寝起きから着替えまでの流れ
- 59【着脱】着替えて髪を結んでもらう
- 60【着脱】昼寝後にひとりで着替えをする
- 61【着脱】外遊びに出かける前の準備
- 62【室内遊び】ひも通し遊び
- 63【室内遊び】パズル遊び
- 64【室内遊び】つるし人形を動かす遊び
- 65【室内遊び】わらべうた遊び(ねこがごぶくやに)
- 66【室内遊び】絵本の読み聞かせ(一人ひとり)
- 67【室内遊び】絵本の読み聞かせ(グループ)
- 68【室内遊び】ままご道具を使った見立て遊び
- 69【室内遊び】具材を使った見立て遊び
- 71【室内遊び】人形遊び
- 72【室内遊び】お店屋さん遊び・人形遊び
- 73【室内遊び】料理ごっこ・お店屋さん遊び
- 74【室内遊び】反射した光の動きを見て遊ぶ
- 75【外遊び】水をすくう遊び
- 76【外遊び】タライの水や水たまりの水で遊ぶ
- 77【外遊び】葉っぱを使った遊び
- 78【外遊び】わらべうた遊び(もぐらどん)
- 79【その他】食事の途中で避難訓練を行う
- 80【外遊び】様々な園庭での外遊び
- 81【外遊び&室内遊び】様々な素材を使う表現遊び

乳児保育を学ぶ教材の決定版。
園内研修で、保育者養成校の授業で、
子育て支援の場でぜひご活用ください!!

映像で見る

乳児の保育

遊びと生活

食事、排泄、睡眠、着脱、室内遊び、
外遊びなどの保育実践81場面
映像収録DVD付き



映像で見る
乳児の保育 ~遊びと生活~
(解説テキスト+DVD)

◎汐見稔幸 監修 松永静子 編著
◎定価14,300円(本体13,000円)
◎エイデル研究所 発行
ISBN978-4-87168-710-2

汐見稔幸先生

—監修者のことば

保育には一般に誰でもどこでも、という「正解」の方法はありません。子どものいま、そのときの気持ちを感じ取り、その子のそれまでの育ちと今凝っていること、あるいは家庭の状況、保護者の願い等に思いをいたし、この子は今何をしたいがっているのか、私に何を求めているのだろうか、ということ、専門的に言うところのアセスメントし対応を決めていくという営みです。その意味で、世間には理解されていないかも知れませんが、保育は深い専門性の必要な営みなのです。

(「刊行にあたって」より抜粋)



サンプル映像をQRからご覧いただけます

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	注文数	映像で見る 乳児の保育~遊びと生活~ (解説テキスト+DVD) 汐見稔幸 監修 松永静子 編著
		部	定価14,300円(本体13,000円+税10%) ISBN978-4-87168-710-2 C3037
		氏名/団体名	
		住所 〒	
		TEL	

本教材を使った授業を受講した学生さんの声

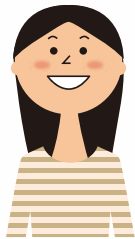
「丁寧に」「素早く」等の 感覚的な言葉について 具体的なイメージが持てました

子どもへの声かけが多く、子どもの状態や今から行くことを擬音語を交えつつ伝えることで、言葉とその意味を繋げているのではないかと思いました。また、教科書に書かれている「丁寧に」や「素早く」等の感覚的な言葉は具体的なイメージがなかったため、映像を見ることでどのように子どもと関わるといいかを学ぶことができました。



実習で見ることができなかった 月齢の子どもの援助を 見ることができました

実習で0歳児クラスに入ったときに、高月齢の子どもが多く、授乳の姿や首の座っていない子どもの援助の仕方を見ることが出来なかったのですが、映像の中で低月齢の子どもが出てきて、保育者がどのような援助をしているのか、より具体的にすることが出来ました。



発達段階に応じて、 一方通行ではない コミュニケーションが見られました

子どもの動作に対して保育士は必ず声かけをしていました。声かけの際も、マザーリーズで言葉を聞き取りやすいようにしていたりと保育士の配慮が見られました。また、言葉を理解している子に対しては、子どもが理解して行動を起こすまで何回も話しかけている姿が見られました。発達段階に応じて、「保育士⇒子ども」の一方通行ではなく、「保育士⇄子ども」のコミュニケーションをとるように心がけていました。



保育者の声かけが、 ゆったりと優しく語りかけるような 話し方でした

教科書で見るよりもどれくらいの優しい声のトーンで子どもに話しかけているのかわかり、保育者は宝物を扱うかのように接していて心あたりました。現場の音環境は、実際に見ないとわからないことですが、今回の映像では保育者の声かけもゆったりと、その場にいる子どもに伝わるくらいの優しく語りかけるような話し方で、想像していたよりも大きすぎないと感じました。



子どもを1人の人として捉えた、 とても丁寧な接し方に 感動しました

子ども一人ひとりを1人の人として捉え、丁寧に声かけをしながら関わっていました。子どもがいかに安心して、心地よく過ごせるかを考え、笑顔で明るい雰囲気の中で生活できるようにして感じました。常に優しく声かけをし、目を見て笑顔で話しかけていて、穏やかな空気感の中で過ごしていました。話ができないからと言って、何も言葉を発さずに淡々とオムツ替えをしたり、食事の援助をするのは人との関わりでは良くないと思っていたため、とても丁寧な接し方に感動しました。



DVDBOOKのご案内(動画)を
QRからご覧いただけます

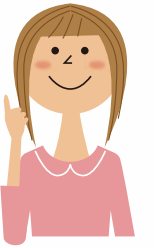
授業を受けた学生さんにインタビュー

映像に対する学生さんのコメント

03【排泄】産休明け児(3ヶ月児)のオムツ交換①



保育者は子どもが安心できるように声のトーン、声のかけ方などを工夫していることが分かりました。おむつ替えの時は常に声をかけ、今から何をするのかなどを伝えながら行っていました。またその場を離れる時は目を離さずベルトをするなど、落ちることがないようにしているのだと学びました。



40【室内遊び】玩具を移し替える遊び

1歳児の子どもがおもちゃの移し替えをしたり、足に輪っかをつけて遊んでいる様子は初めて見たため、その子ども自身がこの遊びのどこに興味を持ち、遊んでいるのかとても知りたくなりました。



42【室内遊び】わらべうたでお茶を飲んで遊ぶ



赤ちゃんの一つ一つの動作に対して声かけをしたり、子どもの反応を見ながら援助を行っていると感じました。日々習慣づいているエプロンの着用に対して、「エプロンはなくてもよいか？」と保育者に動作で伝えていたところが、1歳児なのにすごい！とても感動しました。



教材を授業でご使用いただいた先生の声

テキストでは伝えづらいことが 映像を通して感じられた

「子どもの表情や保育者のまなざし、声のかけ方、あたたかな雰囲気など、テキストなどではなかなか伝えづらいことが映像を通して感じられたようでした。素晴らしい教材です」(保育系短大「乳児保育II」)

※授業での使い方=3ヶ月児の映像4本、0歳児(4ヶ月~)の映像4本、1歳児の映像3本を視聴。映像を観た後に、グループごとに感じたこと、実習に行ったときの経験などをもとに話し合う。



もし自分が保育者だったら… という視点で観てほしい

「映像の各場面についてどう感じるかということも大切ですが、もし自分が保育者だったら…という観点で、映像を観ながら常に考えてもらえるとよいと思いました」(保育系4年制大学「保育原理」)
※授業での使い方=日本の乳児保育の現状、世界の乳児保育への関心の高まりなどの講義の後、3ヶ月児の映像1本、0歳児(4ヶ月~)の映像1本、1歳児の映像1本、2歳児の映像2本を視聴。グループごとに感じたことを話し合う。

